



質問者
三木浩一議員

ブラムボックスウイルス 対策について

問 全国及び県内における被害の現況を把握しているのか。

答 平成21年4月に国内で初めて感染が確認され、県内では、平成24年7月に伊丹市で発見された後、宝塚市、川西市及び尼崎市の一部地域で感染が確認されている。

問 被害が見つかった場合、どのように対処するのか。

答 現在のところ、予防薬や治療法は見つかっておらず、感染拡大の防止策のみであり、感染樹の廃棄や持ち出し等の移動制限を中心とした対応を行う。

問 本市の対策の現況と観光協会や市民への啓発について伺う。

答 現在、世界の梅公園や綾部山梅林の両施設に

おいて、龍野農業改良普及センターの指導の下、年2回、害虫駆除及び剪定を行い、ブラムボックスウイルス等の感染対策や良好な果樹の育成に努めている。また、ウイルス感染に関する国や県の情報については、施設関係者及び御津地区の梅の普及を振興している御津梅の里協議会へ随時提供し、感染地域の植物の持ち込みの禁止を徹底するよう周知を図っている。

問 保護者の就労や負担軽減のためにも、幼稚園の延長保育や給食サービスを早急に実施すべきと考えるがどうか。

答 幼児教育と保育を一体的に提供する「認定こども園」への取り組みを進める中で、延長保育や給食サービスの方向性を検討していく。

問 使用勝手のよい予算配分と補助事業について

答 自立のまちづくり事業において、予算が完全執行されるように、各種団体に対してどのように助言するつもりなのか。

問 女性の社会進出には、経済的に自立できる環境も必要であるが、本市の女性の正規雇用や管理職への登用等の取り組みはしているのか。

答 正規職員の採用は、「平等取扱いの原則」に基づき、性別などは考慮せず、採用試験の成績による能力判定を行い採用している。また、女性の管理職登用についても、「成績主義」を基本に、管理職試験の結果で、意欲、能力、行動力のある職員

を登用している。

問 自立のまちづくり事業の相談があった場合は、申請者の達成感や満足感が充足できるようニーズや意欲を十分に汲み取り、その上で事業の実施時期や実施方法について助言を行っている。なお、事業全体の予算執行率は91・7%であるが、100%の執行を勧めるものではなく、あくまでも補助対象基準に則った執行を助言している。

を登用している。

を登用している。

委員会の活動報告

所管事務調査・管内視察

委員会では、所管する事務について調査を行い、その成果を本会議から付託された議案等の審査に活かしています。

生活福祉常任委員会（平成25年1月24日）

視察内容「にしはりまクリーンセンター現地視察」

西播磨地域3市2町（たつの市新宮町、姫路市安富町、宍粟市、上郡町、佐用町）のごみを処理する「にしはりまクリーンセンター」の完成に伴い、生活福祉常任委員会では、施設内の視察を行いました。



◀4月から供用開始した「にしはりまクリーンセンター」（佐用町）

職員から説明を受ける生活福祉常任委員▶



経済建設常任委員会（平成25年2月22日）

調査内容「国民宿舎の経営状況について」

経済建設常任委員会では、国民宿舎の経営状況について、定期的に委員会を開催し、所管委員会として国民宿舎の現状を確認しています。今回は、宿泊・休憩人数などの事業収益の実績や予算に対する達成率などを調査しました。